

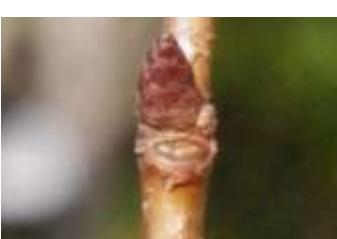
新潟市白山小学校 校地内樹木・植物一覧表

平成25年2月1日更新

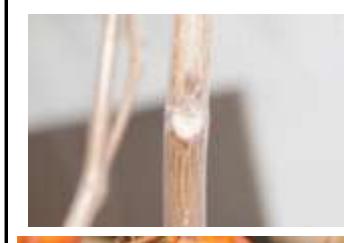
番号	名前	場所	説明	木の様子			
1	アオキ	児童玄関側グラウンド	外用薬として、火傷、腫れ物、凍傷、虫刺されなどの妙薬とされた。				
2	アカバナマンサク	昭和橋側給食室脇	早春に咲くことから、「まず咲く」「まんずさく」が訛ったものともいわれている。				
3	アジサイ	前庭	アジサイは毒性があり、ウシ、ヤギ、人などが摂食すると中毒を起こす。				
		かがやきの森					
		中庭	ガクアジサイ				

4	アベリア アベリア	道路側グラウンド 消防小屋側グラウンド	初夏から秋までの長期間にわたり、白や薄ピンクの小さな花が咲きます。枝先に咲く花は漏斗形で房状に咲きます。				
5	アンズ アンズ	児童会室側グラウンド	果実は生食のほかジャムや乾果物として利用される。英名アプリコット。種は杏仁豆腐の味を出すのに使われる。				
6	イタヤカエデ イタヤカエデ	消防小屋側グラウンド	雨宿りができるくらいに、葉がよく繁り、板でふいた屋根のようなのでこの名がついた。				

7	イチイ	中庭	日本(一説には仁徳天皇の時代)では高官の用いる笏を造るのにこの木が使われた。和名のイチイ(一位)はこれに由来するという説もある。				
8	イチョウ	生活科室 川端町側 かがやき の森H-1 かがやき の森H-2	種子はぎんなんであり、食べられる。材は良質で、碁盤などに利用される。				 <学習との関連> 1年生活 秋生き物図鑑
9	イヌツゲ	生活科室 側グラウンド	刈り込みに強く、よく植え込みに使われる。				

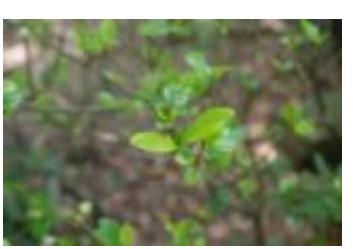
10	イロハモミジ	中庭	日本では最もよく見られるカエデ属の種で、紅葉の代表種。				
11	ウバメガシ	かがやきの森	ウバメガシは備長炭の材料としてよく知られる。どんぐりができる。				
12	ウメ	昭和大橋側給食室脇	奈良時代以前に「花」といえば、むしろウメを指すことの方が多かった。				
		中庭		<学習との関連>1年生活 春生き物図鑑		<学習との関連>4年国語 メモの取り方を工夫して聞こう	
		かがやきの森L-1					
		かがやきの森L-2					
13	ウラジロカシ	中庭	カシ類は材の性質や色にちなむ物が多いが、本種の名前は葉の裏が白いことに由来する。お茶として飲むことがある。				

14	エノキ	中庭	花の後に直径5–6mmの球形の果実をつける。熟すと橙褐色になり食べられる。			<学習との関連>3年国語 自然のかくし絵	
15	エンジュ	川端町側 給食室脇	高さ20mに達する。街路樹としてもしばしば植えられる。蜂などの重要な蜜源植物となっている。				
16	オカメザサ	かがやき の森	東京都台東区浅草の大鳥神社の酉の市で「おたふく」の面を、この竿に吊るしたところからこの名が付いた。				
17	カイズカ イブキ	川端町側 給食室脇 給食室側 前庭 プレールーム 側前庭 中庭	生垣としてよく利用される。				

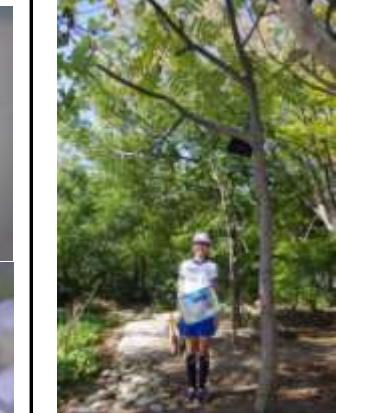
18	カエデ	川端町側 給食室脇	モミジ(紅葉、 楓)とも呼ばれ るが、その場合 は様々な樹木 の紅葉を総称し ている場合もあ る。				
19	カキ	中庭	熟した果実は食用とされ、幹は家具材として用いられる。				
		昭和大橋 側給食室 脇					
		かがやき の森					
20	カクレミノ	かがやき の森	大きな葉で「隠 れ蓑」がわりに したのが、名の 由来らしい。 「隠れ蓑」とは 「着ると、からだ が見えなくなる という、想像上 の”みの”的の 服」のこと。				

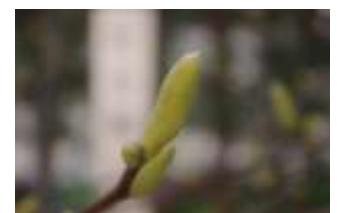
21	ガマズミ	東階段脇 前庭	果実は、9~10月には赤くなるが、まだ甘味が少なく、渋みと酸味が強い。初冬には、甘くなり食べられる。					<学習との関連> さんねん峠
22	カリン	中庭	ジャムや飴に利用される。					
23	カンツバキ	かがやき の森	ツバキ(椿)と サザンカ(山茶花) の交雑種。 花弁と雄蕊が 合着している椿 の特徴、花弁が 一枚ずつ散る 山茶花の特徴、 性質を合わせ 持つ。					

24	キクマサキ	川端町側 生活科室 外	刈り込みに強く、密生することから、生け垣や庭木として用いられる。				
25	キョウチクトウ	グラウンド	葉がタケに似て いること、花が モモに似ている ことからこの名 がついた。				
		中庭					
26	キンメツゲ	校門脇 (垣根)	新葉が黄金色 に色づく。				

27	キンモクセイ	児童会室側グラウンド かがやきの森	秋になると小さいオレンジ色の花を無数に咲かせ、芳香を放つ。	 	<学習との関連>1年生活 秋生き物図鑑	
28	キンモクセイ	グラウンド	葉はやや大きめで、少しギザギザがある。触るとちょっとだけ痛い。10月頃、白っぽい花が咲く。花は、小枝状のものを出した。その先端に咲く。1ヶ所から束になって咲く。			
29	クチナシ	かがやきの森	花は甘い芳香がある。果実を乾燥させたものを煮出した汁はたくあんや、こんにゃく黄色く染める着色料になる。	 		

30	クヌギ かがやきの森A-1 かがやきの森A-2	樹液に集まる昆虫が多い木として有名。ドングリがなる。縄文時代の遺跡からクヌギの実が土器などとともに発掘されたことから、灰汁抜きをして食べたと考えられている。					<学習との関連>1年生活 秋生き物図鑑
31	グミ 児童会室側グラウンド 中庭	円形で赤く熟し、渋みと酸味、かすかな甘味があって食べられる。					
32	クリ かがやきの森	花は初夏。花としては目立たない。匂いは強い(臭い)ので気が付くこともある。					<学習との関連>2年国語 あしたも友だち

33	クルミ	かがやきの森	食用としての利用は古く、紀元前7000年前から人類が食用としていたとも言われている。			 	 		<学習との関連>4年理科 寒さの中でも
34	クロマツ	前庭中央	防潮林、盆栽として利用される。				<学習との関連>6年理科 植物の養分と水の通り道 5年理科 種子の発芽と成長		
		中庭							

36	ケヤキ	グラウンド <hr/> かがやきの森D-1 <hr/> かがやきの森D-2	木目が美しく、磨くと著しい光沢を生じる。建築用資材として利用される。				
37	コデマリ	中庭	春咲く花のは小さな手毬のように見え、これが名前の由来となっている。				
38	コブシ	前庭 <hr/> 昭和大橋側給食室脇 <hr/> かがやきの森F-1 <hr/> かがやきの森F-2	果実は集合果であり、にぎりこぶし状のデコボコがある。これがコブシの名前の由来。				

39	サクラ	グラウンド かがやきの森J	ソメイヨシノ 開花しても普通果実はできず、花が散るとやがて花柄は一斉に落下してしまう。希に果実が形成されるが、発芽する種子はほとんど無い。				
40	ザクロ	グラウンド	観賞用に栽培されるほか、果実は食用としても利用。				
41	サザンカ	中庭 かがやきの森	寒い時期に、花を咲かせる。童謡「たきび」歌詞に登場することでもよく知られる。				 <学習との関連>1年生活 冬生き物図鑑

42	サツキ	川端町側 給食室脇 玄関前中央 中庭	他のツツジに比べ一ヶ月程度遅い、旧暦の五月(皐月)の頃に一斉に咲き揃うところからその名が付いたと言われる。				
43	サツキツツジ	かがやきの森	陰暦の5月位に咲くのでサツキと呼ばれている。				
44	サルスベリ	玄関前中央 中庭 かがやきの森N	比較的長い間紅色の花が咲いていることから「百日紅」ともいう。猿が登ろうとしても、滑ってしまうということで、猿滑と表記することもある(実際には猿は滑ることなく簡単に上ってしまう)。				

45	サンゴジュ	道路側グラウンド <hr/> 川端町側給食室脇 <hr/> かがやきの森	果実が秋に赤く熟して美しい。それをサンゴに例えて名付けられた。				
46	サンザシ	消防小屋脇グラウンド	熟すると赤くなる果実は生薬、果実酒、ドライフルーツなどの用途がある。				
47	サンショウ	給食室脇	山椒の実を漬したサンショウ粉はワサビと並ぶ日本の代表的な香辛料だが、山椒の若葉は「木の芽」と呼ばれ、独特の香りと辛味があって、冷奴や刺身のつまにしたりお吸い物に香り付けに浮かべたりする。				

48	シイノキ	体育館側 グラウンド かがやき の森E-1 かがやき の森E-2	椎の実は生食 できる。ドングリ ができる。				
49	シダレザクラ	児童会室側グラウンド	23年度植えた木。シダレザクラは、枝がやわらかく枝垂れる桜の総称。				
50	シモクレン	かがやきの森	紫の花。モクレンともいう。				

51	シャリンバイ	中庭 園芸小屋側グラウンド	和名の車輪梅 …車輪のス ポークのよう で花が梅に似る。				
52	シュロ	玄関脇PR廊下外	シュロ繩は船を 係留するロープ として、庭園の 竹垣や袖垣な どを結ぶひも、 建築用の繩な どに利用され る。				
53	ジューンベリー	グラウンド	春に咲く小さな 花と、細めの枝 に少し透かした 感じでバラの小 葉によく似た葉 をつけるのが特 徴。果実は食 えることができる。				

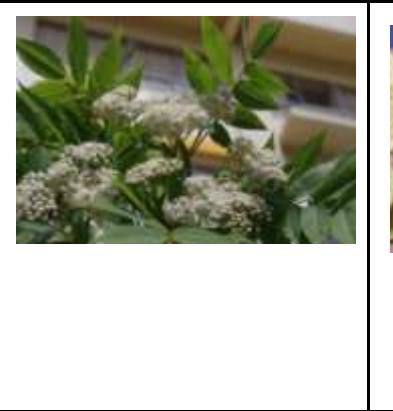
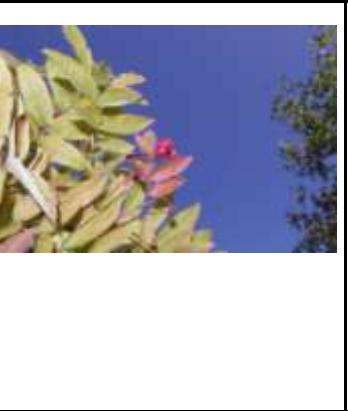
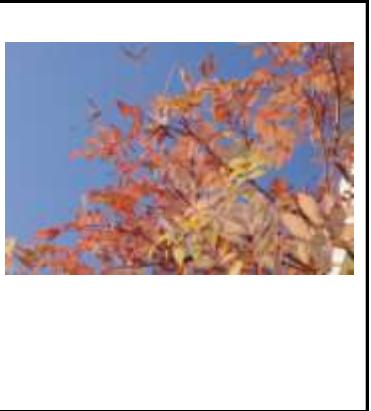
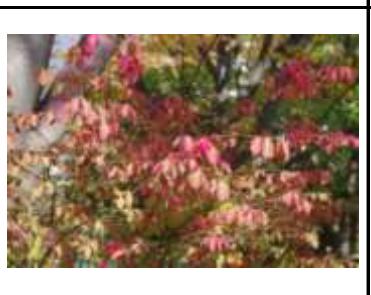
54	常緑ヤマボウシ	グラウンド	花、実、光沢の葉と一年を通して楽しめる花木。常緑の葉は寒さで赤銅色に変わり、独特の雰囲気になる。花は、開花期には木全体が真っ白になってしまう程、花付きが良いのが特徴。				
55	シラカシ	かがやきの森K	生でも食べられるスタジイ、マテバシイとくらべると10倍ちかくのタンニン量があるので抜きをしないと食用にすることができるない。				
56	シラカバ	グラウンド	高原のイメージを醸し出す樹木。樹液から抽出されるキシリトールは、虫歯予防になる甘味料としてチュインガムに利用。				
		かがやきの森					

57	ジンチョウゲ	中庭	この香りは春の訪れをイメージさせる。沈丁花と書く。				
58	タイサンボク	中庭	6~7月に咲く白い花は大きくて見事。				
59	タブノキ	川端町側児童会室外 中庭 かがやきの森B-1	葉柄を切り取つてもう一度くつづけてゆっくりと離すと、粘液の糸を引く。このような粘着性を利用し、線香の粘結剤として利用されたといふ。			アオスジアゲハ 	幼虫はタブノキの葉を食べる
60	タマツゲ	中庭	生垣に使われる。				

61	タマリュウ	給食室側前庭	最近では最も使われているグランドカバープランツ。				
62	タワラグミ	かがやきの森	実は赤くなつても渋みと酸味がある。ジャムにすることができる。				
63	ツツジ	玄関前中央	日本では古くから園芸品種として、交配され美しい品種がたくさん生まれた。				
		中庭					
64	ツバキ	音楽室側グラウンド	花期は冬から春にかけて。 <学習との関連>5年理科実や種子のできかた				
		川端町側給食室脇					
		中庭					

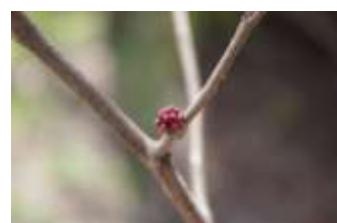
65	ツルバラ	グラウンド 道路側	フェンスやアーチを飾るつる性のバラ				
66	トウカエデ	中庭	樹勢が強いため、街路樹としてよく植えられる。				
		かがやき の森					
67	ドウダン ツツジ	中庭	漢字表記は満天星。ツツジの中では、もっとも紅葉が美しい。				
		かがやき の森					
68	トチノキ	かがやき の森G-1	『モチモチの木』に登場する木は、このトチノキである。栗のような形の実(み)はすりつぶして渋抜きして「とち餅」にする。				
		かがやき の森G-2					

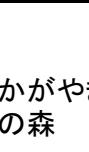
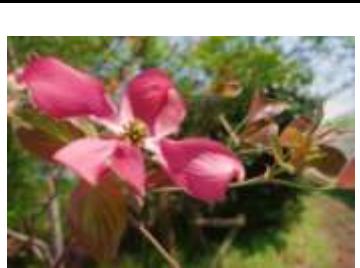
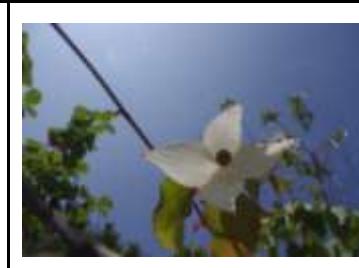
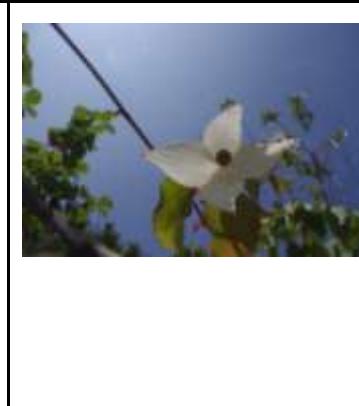
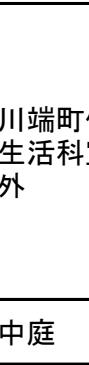
69	トネリコ	プール脇、駐車場	木材としてのトネリコは弾力性に優れ、バットや建築資材などに使用される。				
70	トベラ	中庭	節分にイワシの頭などとともに魔よけとして戸口に掲げられた。そのため扉の木と呼ばれ、これがなまってトベラとなった				
71	ナツメ	中庭	果実は乾燥させたり(干しなつめ)、菓子材料として食用にされる。				

72	ナナカマド かがやきの森	中庭	秋にはあざやかに紅葉し、赤い実を成らせる。実は鳥類の食用となる。果実酒にも利用できる。備長炭の材料として火力も強く火持ちも良いので作られた炭は極上品とされている。				
73	ナンテン	中庭	音が「難を転ずる」に通ずることから、縁起の良い木と言われている。				
74	ニシキギ	中庭 児童会室側グラウンド かがやきの森	紅葉が見事で、モミジ・スズランノキと共に世界三大紅葉樹に数えられる。				

75	ニセアカシア	かがやきの森	アカシアはエンジュ(槐)とも呼ばれるので、ニセアカシアはハリエンジュ(針槐)と呼ばれる。ニセアカシアは刺を持つことを表している。				
76	ニワウルシ	生活科室側グラウンド	シンジュ(神樹)。和名に「ウルシ」がついているが、ウルシ(ウルシ科)とは全くの別種。ウルシのようにかぶれる心配はない。			<学習への関連>5年国語ニワウルシと出ている。	
		玄関前東階段脇					
		中庭					
77	ヌルデ	かがやきの森	ヌルデの名は、かつて幹を傷つけて白い汁を探り塗料として使ったことに由来するとされる。三年峠に出てくる。				
78	ネズミモチ	中庭	果実を「ネズミの糞」に例え、葉の質感がモチノキの仲間に似ていることからネズミモチと和名が付いたのだといわれている。				

79	ネムノキ	かがやきの森	ネムノキの名前の由来は夕方になると葉が合わさって閉じてしまう様を眠ることに例えたもの。			
80	ハギ	かがやきの森	秋の七草のひとつで「くさかんむり」に「秋」と書いて「萩(はぎ)」となり秋に花を咲かせるものが多い。ハギという名前は株からたくさんの中芽を出す様子を表す「生え芽(はえき)」から来ている。			
81	ハクチヨウゲ	玄関前給食室側	白丁花。名前の由来は、丁字型の白い花を付けるところから来ていて、白鳥とは関係が無い。			

82	ハクモクレン グラウンド 体育館側 かがやき の森	中庭	花びらは太陽の光を受けて南側がふくらむため、花先は北側を指す。このことから、「磁石の木」と呼ばれることがある。				
83		児童会室 川端町側	白い花が次第に赤へと変化する。箱根の名がつくが、箱根に自生するものは少ない。「空木」というのは中空の枝のことを言う。				
84		消防小屋 脇グラウンド	葉はハート形。早春に枝に花芽を多数つけ、3-4月頃葉に先立つて開花する。花は紅色から赤紫で長さ1cmほどの蝶形花。			 	 

85	ハナミズキ 	かがやきの森  児童会室側グラウンド  理科室側グラウンド 	秋につける赤い実と、紅葉も見事。歌や映画に名前がつけられている。		
86	ヒイラギ 	川端町側生活科室外 	節分の夜、ヒイラギの枝と大豆の枝に鰯(いわし)の頭を門戸に飾ると悪鬼を払うという。		
		中庭			
87	ヒイラギモクセイ 	中庭 	ヒイラギモクセイはギンモクセイとヒイラギの雑種であるとされ、公園木や庭木として良く植栽されている。		

88	ヒガンバナ	中庭	彼岸花は、球根からまっすぐに伸びた長い茎の先に線香花火のように咲く花です。彼岸ごろから開花するところで、「彼岸花」というのだそうです。別名「曼珠沙華」とも呼ばれています。		「真っ赤な秋」という歌では、「まっかだな、まっかだな 彼岸花ってまっかだな」と歌われている。	また、4年生の国語の教科書に載っている「ごんぎつね」の物語にも出てくる花。	
89	ヒバ	昭和大橋側給食室脇	腐りにくく、耐水性があって湿気にも強い、強度もヒノキと同等という特性を活かして、土台や柱、軒廻り、浴室、濡縁、ベランダなどに用いられる。				
90	ヒマラヤシーダ	児童会室側グラウンド	ヒマラヤスギ。マツに近い種。世界三大造園木の1つ。球果(松ぼっくり)は大きく、縦10cm、横8cmほど。				
		プール脇					

91	ヒメリンゴ	音楽室側 グラウンド	桜より開花が遅い。花は最初はピンクで、満開時には白くなる。小さな林檎がなる。秋に熟す。食べられるが酸っぱい。				
92	ヒラドツ ツジ	グラウンド グラウンド脇 桜の木の 下 グラウンド脇 桜の木の 下 かがやき の森	花色に白、桃 紫、緋赤、底紅 等各色あり、葉 は明るい緑色で 鮮やか。ツツジ の中では大型。				
93	ビワ	生活科室 側グラウンド 児童会室 側グラウンド	果肉は甘く、生 食されるほかに 缶詰などに加工 される。				

94	フジ	中庭	藤棚として植えられ、夏の避暑のための休憩所として利用されている。				
95	ブナ	かがやきの森I-1	果実は、断面が三角の痩せた小さなドングリといったところ。しかしながら、中の胚乳は渋みがなく脂肪分も豊富で美味であり、生のままでも食べることができる。ブナ林は明るい林である。				
96	ブルーベリー	児童玄関側グラウンド	23年度植えた木。生食用途の他、ジャム等の加工食品として供給されている。 健康食品などで「目の網膜に良い」と視力改善効果が謳われているアントシアニンが豊富に含まれている。				

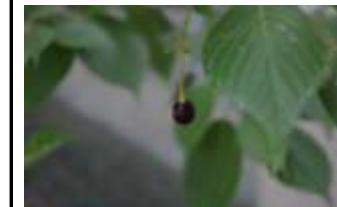
97	ベニシダレ	児童会室側グラウンド	春に色づくもみじを総称して「紅枝垂(べにしだれ)」という。				
98	ボケ	PR廊下外前庭	実が瓜に似ており、木になる瓜で「木瓜(もけ)」とよばれたものが「ぼけ」になったといわれている。				
99	ポプラ	プール脇	花が終わるとすぐに綿毛付きの種子を大量につける。この種子が風にとばされて空を舞う。				

100	マサキ	生活科室 川端町側	夏に緑がかった白色の小花を咲かせ、冬には赤い実を付ける。熟した実は3~4つに裂けて、中から赤黄色の種子が現れる。葉だけでなく、この熟して裂けた実も美しい。				
101	マテバ シイ	かがやき の森C-1	マテバシイの堅果(どんぐり)は渋味がなくあく抜きをせずに食べることができるため稻作が伝わる以前は重要な食糧だったと考えられている。縄文時代の遺跡からその果実が出土するという。				
		かがやき の森C-2					

102	ムクゲ	かがやき の森 昭和大橋 側給食室 脇	朝方3時頃に開花した花は夕方にはしほんでしまう「一日花」で、「槿花一朝(きんかいっちょう)の夢」(人の世ははかない、の意)に例えられている。			
103	ムラサキ シキブ	かがやき の森	名前の由来は諸説あるが、よく言われるのは紫色の実が敷き詰められたように付く「むらさきしきみ(紫敷き実)」や紫色の実が茂る「むらさきしげみ(紫茂実)」が訛ったものとされている。美しい果実を平安時代の女流作家『紫式部』になぞらえたという説もある。			

104	メタセコイア	中庭 かがやきの森M	メタセコイアは秋に紅葉し冬に落葉するが、セコイアは冬も青々。「生きている化石」と呼ばれることが多い。				
105	モッコク	かがやきの森	庭の主役として扱われてきた言わば「庭園の定番」のような樹木。そんなところから「庭木の王様」「三大庭木のひとつ」などともいわれる。				
106	モミ	生活科室側グラウンド 中庭	風にもみ合うところから、樅の木と呼ばれる。クリスマスツリーを思い起こす木。かまぼこの板にも使われる。				<学習との関連>3年国語でぶくろを買いに

107	モミジ	生活科側 室グラウンド 中庭	カエデの仲間の 特に葉がきれい な仲間(子供の 手のような葉の 形のやつ)をモ ミジと区別して 呼んでいる。				
108	ヤツデ	消防小屋 脇	ヤツデの名前 は葉が7~9つ に大きく切れ込 むところに由来 する。漢字で書く と「八つ手」。				
109	ヤナギ	消防小屋 脇	古くから都市の 街路樹としてよく 用いられた。 そのため、単に ヤナギと言えば シダレヤナギを 指すことが多い。				
110	ヤブツバ キ	中庭 かがやき の森	ツバキの園芸 種の原種、葉は 広橢円形で、光 沢があり、縁に は細鋸歯があ る。サザンカと 違つて、果皮の 表面など、植物 体全体に毛が ない。				

111	ヤマザ克拉	体育館側 グラウンド	多くの場合葉芽と花が同時に展開する(開く)ので、これがソメイヨシノと区別する大きな特徴。実は熟すとヒヨドリやムクドリがよく食べる。				
112	ヤマブキ	給食室側 前庭	花は”やまぶきいろ”と呼ばれる鮮やかな黄色。 絵の具とか色えんぴつに「やまぶき色」がある。				
113	ヤマボウシ	生活科室 側グラウンド	アメリカヤマボウシ(ハナミズキ)と似ている。しかし、花(本当は花ではなく総苞)の色が白のみである。総苞(そうぼう)の先がとがっている。実の形が違う。				
114	ユキヤナギ	給食室側 前庭	枝にいっぱい白い小さな花をつける。遠くから見ると花の噴水のよう。				
		中庭					

115	ユズリハ	かがやきの森 昭和大橋側給食室脇	新しい葉が出て古い葉と入れ替わるのでこの名前になった。子どもが成長して大人になり親がその代を譲ることにたとえて、新年を迎える縁起のよい木とされる。				
116	ユリノキ	園芸小屋前グラウンド	葉ははんてんに似ている。初夏にチューリップのような白い花をつけるので、英名は tulip tree。				
117	リキュウバイ	自転車小屋脇	名前は茶人「千利休」から。しかし、日本に入ってきたのは、明治時代末で利休ゆかりというわけではなく、茶花として広く利用されていたため名づけられた。				

118	リンゴ	グラウンド	日本における植物学ではセイヨウリンゴと呼ぶ。				
119	レンギョウ	プール脇 プレー ルーム側 前庭 給食室側 玄関前	英語で Golden bells と呼ばれるように、黄金色の4弁の花を枝にびっしりと咲かせる。				

